

合併関係ヒアリング資料

長野県富士見町

① 住民投票で合併推進を否決された経緯と理由

* 経 緯

諏訪地域 6 市町村 (岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村) の合併の動きは過去 3 回あった (昭和 41 年、平成 4 年、平成 9 年)

平成 14 年 10 月 諏訪地域 6 市町村任意合併協議会設置

- 12 月 富士見町の合併についての意思を問う住民投票条例施行
- ・投票資格者を 18 歳以上の日本国民及び永住外国人
 - ・投票の成立要件を投票資格者の 1/2 以上とし、成立しない場合は開票しない
 - ・投票の結果、有効投票の賛否いずれか 2/3 以上の場合、町長はその意思を尊重する

15 年 1~2 月 住民懇談会の開催

- 9 月 議会定例会で町長として「財政的な不安が考えられる中で、町が将来に向かってより高い福祉と快適な生活環境を確実になものとして住民に約束するには合併が賢明な選択である」と合併を積極的に推進する旨表明

9~11 月 「市町村合併について考える」住民懇談会

12 月 富士見町の合併についての意思を問う住民投票

有権者：12,924 人 投票総数：8,688 人 投票率：67.22%
賛成：2,805 人 32.64% 反対：5,790 人 67.36%

(反対票が有効投票の 2/3 (66.7%) を越えた)

(参考 町議会議員 賛成派 12 人 反対派 4 人)

12 月 住民投票結果を受けて任意合併協議会離脱

* 理 由

- 反対派の動きは活発であったが賛成派の動きは大きくなりえなかった。
- 住民懇談会に積極的な住民参加が得られなかった。
- 県内の合併しない町村の動きなどにより合併に反対の風潮が大きくなった。
 - ・県 (前県知事) の姿勢

- 「とりあえず今のままで」と考える町民が多かった。
 - ・ 富士見町の新市における地形的な位置→南端→サービスが行き渡らない→過疎化の進行
 - ・ 富士見町の過去の合併における地域格差→わだかまりが若干残っている
 - ・ 農協合併の現状→良い結果でないと感じられていた（組合員＝町民）
- 結果として、住民投票により、諏訪地域の6市町村の枠組みでの合併には反対との結論に至った。
 - ・ 八ヶ岳山麓（茅野市・原村・富士見町）と諏訪湖周（岡谷市・下諏訪町・諏訪市）の過去からの隔たり→経済基盤、風土、文化の相違

② 現在抱えている課題

財政基盤の強化

- 社団法人富士見町開発公社（第三セクター）に関する過大債務
- 富士見町土地開発公社の債務と塩漬け保有土地
- 少子・高齢化の進行
- 基盤産業である農業の将来
- 財源不足
- 地域医療への不安

③ 今後の合併に対する考え方

- 住民投票で示された民意の尊重 → 当面合併の選択はない
しかし、将来的にはありうる（財政的、大きな流れ）
- 6市町村の枠組みより近隣市町村か
- 今は合併する気運が6市町村にない

富士見町の概要

・昭和30年 4ヶ村が合併

面積 144.66km² 人口 15,489人(H19年10月1日)

高齢化率 27.62%(H19年10月1日)

19年度普通会計予算 67.3億円(内地方交付税 16.8億円)

財政力指数 0.588(H18決算)

実質公債比率 14.6%(H18決算)

農業産出額 36億円(H17)

製造品出荷額等 1,279億円(H17)

商品販売額 186億円(H16)

